

「子どものための
友情の架け橋コンサート2008」への
松浦晃一郎ユネスコ事務局長メッセージ



東京、2008年2月8日

この度は、特別企画「子どものための友情の架け橋コンサート」を開催される運びとなり、心よりお慶び申し上げますと共に、ユネスコの支援を表明させていただきます。

ユネスコの使命は、<<人の心に平和の砦を築く>>ことですが、このために、我々は、特にこのグローバル化の時代において、異文化間の交流・対話を促進することが必要であると確信しています。

様々な芸術表現や、現存の伝統文化を基にした交流には、人々間の友好的な関係を強化する非常に大きな可能性があります。アイデンティティーの根源、また、普遍的なコミュニケーションの手段として、特に音楽は、平和と、人々の相互理解、結束のための、重要なパワーです。

ご存知の方もいらっしゃるでしょうが、ユネスコは、2001年以来、関係各国ユネスコ国内委員会の協力を得て、「東アジア子ども芸術祭」を開催しております。共通語である芸術、音楽とダンスを通じて、子供達に、それぞれが具現する伝統、才能、創造性を分かち合い、互いの価値を認めあう機会を与えて、東アジア地域における文化の多様性を認識・受容してもらうことを目的にしていますが、これは、計り知れないほど有益な経験であります。

貴コンサートは、同じ趣旨のもとに構想されました。私は、このイベントの主催者である2008年度実行委員会のメンバーの皆様方に対して祝意を述べるとともに、異文化間の対話を促進し、そして、音楽を通して子供達間の友情を育むという、この素晴らしい機会を創って下さったことに対して、御礼を申し上げたいと思います。

このようなイニシアチブは、「世界の子供達のための平和と非暴力の文化に向けての国連国際10年(2001年～2010年)」の成功に貢献すると共に、世界の平和と安全を推進するとのより広範囲な努力にも資するものと確信しています。文化的伝統の後継者として、そして、未来の世界を築く機動力として、子供達は寛容、相互の尊重といった価値を伝達する重要な役割を果たします。世界に開かれた、偏見のない心を持つ子供達は、最良の平和大使でもあります。

最後に、主催者の皆様、音楽家の皆様、子供達、その他参加者の皆様方、そして観客の皆様、全ての関係者の方々に、コンサートのご盛況をお祈り致しております。

松浦晃一郎